



# 越前松平家の「きもの」

- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成21年12月3日(木)～  
平成22年1月24日(日)
- 休館日 12月28日(月)～  
1月4日(月)、1月12日(火)

今回は越前松平家に伝来する衣装の中より、江戸時代後期～大正時代の着物を紹介します。時代が移り変わるにつれ、着物にも少しずつ変化がみられます。それは西洋から新しい技術が伝わったことや、新たな女性の風俗が取り入れられたという時代背景と少なからず関係があります。

かたちはそのままに、地色や織り方、模様デザインなどが変化してきた着物。そこから長らく女性の衣装の中心だった着物の存在感を感じていただければと思います。

## 江戸時代後期の武家女性の小袖

江戸時代、<sup>こそで</sup>小袖の製作技法に大きな変化が二つありました。一つは友禅染の技術が考案されたこと、もう一つは幕末に西洋から化学染料が伝来したことです。化学染料を使えば鮮やかな色の生地や模様を表現することができますが、広く使用されるのは明治時代になってからです。一方、江戸時代中期には友禅染の小袖が町人の間に広まり、様々なデザインの小袖が着られました。しかし武家の女性には受け入れられず、<sup>ししゅう</sup>刺繍が中心の古典的な模様の小袖が踏襲されていました。ここでは江戸時代後期の武家女性が好んだ典型的なデザインの小袖を紹介します。



うすもえ ぎちりめんじ ひとえ

### 1. 薄萌黄縮緬地御所車草花流水模様単衣(江戸時代後期)

江戸時代後期に武家女性に好まれたデザインが二種あり、これは「架空の景色に古典が題材のモチーフを入れる」例。



ぼたんさ やかた

### 2. 白縮緬地藤桜牡丹紗綾形模様単衣(江戸時代後期)

もう一種の「刺繍や摺疋田で吉祥模様を散らすデザイン」の例。

## 時代とともに移り変わるきもの

明治時代になると小袖は「きもの」という言葉で呼ばれるようになり、見た目にも徐々に変化が現れます。武家女性に好まれた模様は引き継がれず、明治時代の半ばには化学染料による鮮やかな模様のものが作られるようになり、例えば袖や裾をグラデーションに染めた着物が流行しました。手描きの西洋風の模様は明治から大正時代に流行ります。着付けでおはしりを取り、動きやすくなったのも明治時代のことです。

ここで紹介するのは、越前松平家19代当主松平康昌の夫人、綾子(徳川宗家16代当主、徳川家達の長女)の着物です。それらは振袖や元々振袖だった留袖で、綾子が若い頃のもので。明治30年(1897)生まれの彼女の着物を並べてみると、時代背景や技術の進歩が着物の変化にも影響を与えていることが感じられます。



あさぎ  
3. 浅葱縮緬地竹梅鶴模様女児着物(明治時代後期)  
化学染料で暈して染め分けた表現。明治時代に流行した。



こんじょう らん  
4. 紺青縮緬地蘭模様振袖(明治時代後期~大正時代)  
鮮やかな色地に花を油絵風に描いた友禅染。明治から大正時代に流行した技法。

## 帯留

江戸時代後期に目貫や小柄など刀装具を転用したのが帯留の初めとされます。明治時代に入ると、刀装具を作っていた金工職人が帯留など小物に腕を振るようになります。時代が進むにつれ、鼈甲、宝石、珊瑚など様々な素材でバラエティ豊かな帯留が作られ、着物や帯、帯締めと帯留の組み合わせが楽しめるようになりました。ここでは伝統的な金工品の帯留と、洋装のアクセサリーを思わせる華やかな帯留をご紹介します。



ざるまわし  
17. 猿廻小柄帯留(後藤光晃作、江戸時代後期)  
江戸時代の刀の小柄を帯留に転用したもの。



さざ  
20. 鶯帯留(桂光春作、明治時代~昭和時代)



30. 松平綾子肖像写真(大正時代)  
写真12の着物に写真16の帯を締めている。



きちょうたちばなやなぎ  
12. 紺縮緬地几帳橘柳模様着物(大正時代)  
元は振袖だったが袖を留めて留袖になっている。



16. 白茶地牡丹松錦帯(明治時代~大正時代)



14. 紫縮緬地松藤橋模様振袖(大正時代)  
松平綾子が婚礼や披露宴の日に着た振袖。



23. 真珠宝飾帯留(明治時代~大正時代)

# 展示作品一覧

No.	名 称	員数	所 蔵	身丈(cm)	桁
1	白縮緬地藤桜牡丹紗綾形模様単衣	一領	福井市春嶽公記念文庫	172.8	61.6
2	薄萌黄縮緬地御所車草花流水模様単衣	一領	福井市春嶽公記念文庫	177.2	61.5
3	浅葱縮緬地竹梅鶴模様女児着物	一領	越葵文庫	96.5	38.2
4	紺青縮緬地蘭模様振袖	一領	越葵文庫	152.0	63.0
5	黒縮緬地竹波模様着物	一領	越葵文庫	153.6	64.6
6	小豆縮緬地紅白梅牡丹雪模様振袖	一領	越葵文庫	154.0	64.0
7	濃紺紵地葵流水滝模様単衣	一領	越葵文庫	156.7	62.0
8	黒縮緬地菊模様着物	一領	越葵文庫	157.0	65.0
9	黒縮緬地竹菊模様着物	一領	越葵文庫	157.5	64.0
10	黒縮緬地松鶴模様着物	一領	越葵文庫	158.0	63.7
11	紺青紵地あやめ模様単衣	一領	越葵文庫	159.5	63.6
12	紺縮緬地几帳橘柳模様着物	一領	越葵文庫	159.8	64.2
13	黒縮緬地六歌仙模様着物	一領	越葵文庫	167.5	63.3
14	紫縮緬地松藤橋模様振袖	一領	越葵文庫	170.5	63.0
15	赤地鳳凰錦帯	一本	個人蔵		
16	白茶地牡丹松錦帯	一本	個人蔵		
17	猿廻小柄帯留	一点	個人蔵		
18	梅枝帯留	一点	個人蔵		
19	菊花散帯留	一点	個人蔵		
20	鷺帯留	一点	個人蔵		
21	丸形草花散帯留	一点	個人蔵		
22	草花鳳凰帯留	一点	個人蔵		
23	真珠宝飾帯留	一点	個人蔵		
24	菊花帯留	一点	個人蔵		
25	真珠に犬帯留	一点	個人蔵		
26	真珠宝飾帯留	一点	個人蔵		
27	松平綾子肖像写真(明治45年)	一枚	個人蔵		
28	松平康昌夫妻肖像写真(大正5年)	一枚	個人蔵		
29	松平綾子肖像写真(大正7年)	一枚	個人蔵		
30	松平綾子肖像写真(大正時代)	一枚	個人蔵		
31	松平宗紀夫人肖像写真(昭和34年)	一枚	個人蔵		
32	袖繋ぎベッドカバー	一枚	越葵文庫		

※作品No.は展示順とは違うことがあります。No.27～31の写真はパネル展示となります。

## 関連行事

**ギャラリートーク** 担当学芸員が展示を解説します。

〈日時〉12月12日(土)、12月18日(金)、1月11日(月・祝)、1月24日(日)  
各日14:00～14:30

〈場所〉松平家史料展示室、〈参加費〉平常展示観覧料

## 次回の展示

〈松平家史料展示室テーマ展〉「越前松平家の名品Ⅳ」  
平成22年1月27日(水)～3月15日(月)

『展示解説シートNo.47』

平成21年12月3日発行

**福井市立郷土歴史博物館**

〒910-0004

福井市宝永3丁目12-1

電話 0776-21-0489

FAX 0776-21-1489

担当 高瀬裕美

制作 足羽印刷株式会社